

第2回使えるハイウェイ推進会議 資料

2004年8月23日
(社)日本経団連輸送委員会

使われない高速道路・混雑する生活道路

物流コスト削減・物流の円滑化

- ・just in time
- ・少量多頻度納品
- ・高速料金の高負担感

社会的な問題(安全・環境)

- ・交通安全問題
- ・渋滞問題
- ・環境問題(排ガス、騒音)

市場原理の中で、トラックなどの商業車を高速道路に誘導していく施策が必要

【基本的な考え方】

- ・経済面(物流効率化)及び社会的な問題(環境・安全等)の改善に貢献する施策。
- ・ソフト面で大胆な施策(特に料金)を講じる。
- ・特定の業種だけに負担が偏らない。
- ・国民的なコンセンサスを得て実行する。
- ・公団・新会社は弛まぬ効率化に努める。

【個別施策の提案】

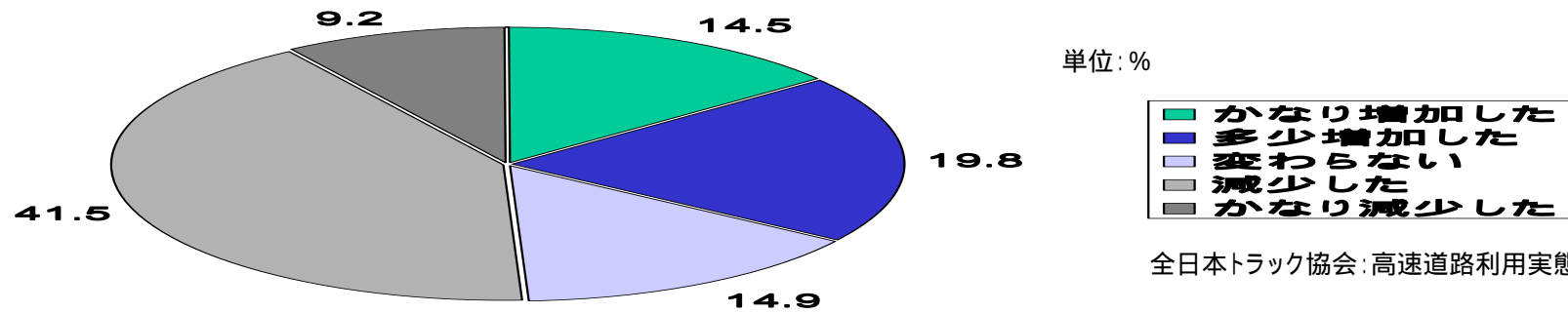
- ・料金施策(往復割引、乗継割引、1日通行券等)
- ・ETCの普及(車載器購入補助、専用レーンの確保・拡充)
- ・ICの拡充(適所に簡便なICを整備)
- ・SA、PAの環境整備(貨物車専用駐車場、休憩施設、シャワープール、給電施設など)
- ・波及効果の高い高速道路網の整備(三環状)

施策の大々的なPR

使い勝手のよい高速道路の整備・運営

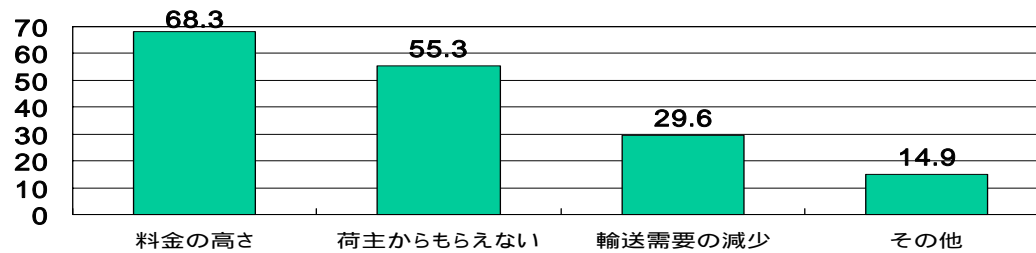
使われる高速道路・生活道路の混雑解消
(物流の効率化、環境改善、安全確保、渋滞・騒音解消)

5年前と比較した高速道路利用回数の変化の割合 (N = 763)



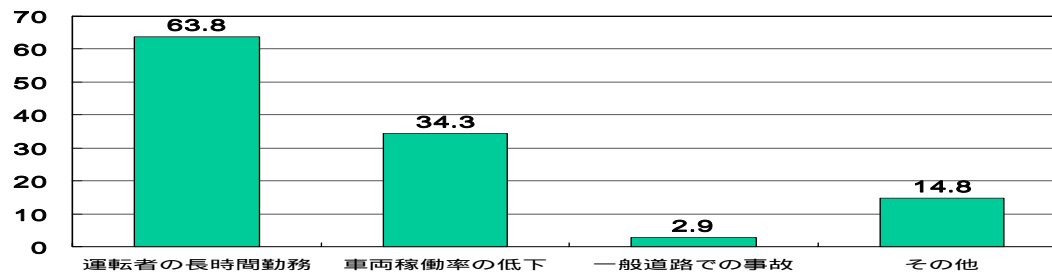
全日本トラック協会: 高速道路利用実態調査 (H15.3)

高速道路利用回数の減少理由 (N = 416 複数回答)



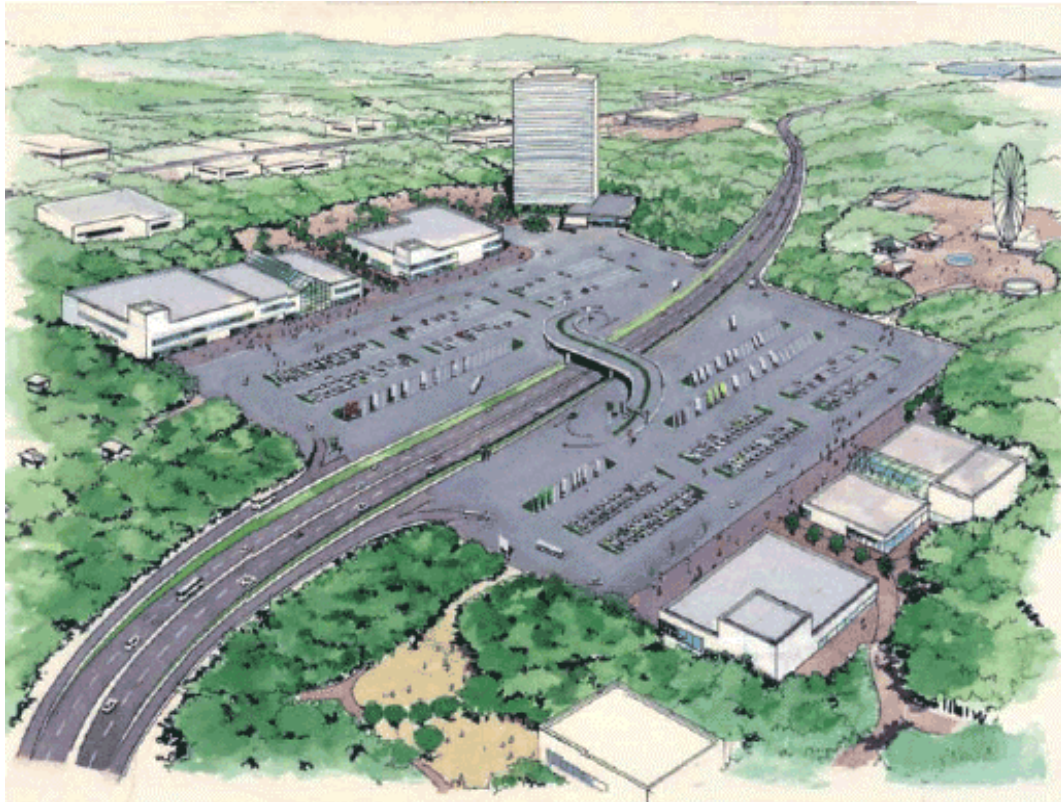
単位: %。出所は前掲に同じ

利用減少の結果生じた問題 (N = 370 複数回答)



単位: %。出所は前掲に同じ

SA・PAの環境整備



(出所: 国交省道路局資料)

1. 大型車専用駐車スペースの確保と冷凍・冷蔵車用の給電インフラ整備
 2. 運転者用休憩施設の整備
 3. トレーラ交換スペース (Uターン専用ETCゲート) や簡易積替え施設の整備
- など